

第2回 清和台地区 地域説明会

令和7(2025)年12月13日
於:清和台小学校
午前10時～

令和7(2025)年12月13日
於:清和台南小学校
午後2時～

令和7(2025)年12月14日
於:清和台公民館
午前10時～



はじめに

説明会の趣旨

この説明会では、清和台地区の学校のあり方の今後の方向性をご説明いたします。

教育委員会としては、

「清和台小学校と清和台南小学校の児童がひとつの学校でともに学ぶ環境をめざす」
ことを考えています。

ただし、その運営場所や開始時期に関しては、後ほど説明する3つのパターンの教育環境を中心に、今後、保護者や地域の皆さまのご意見を伺いながら、最終的な方針を決定していきたいと考えております。

まず、教育委員会の方向性をご説明し、その後、第1回地域説明会からこれまでの取り組みや保護者、教職員、児童の意見をご紹介します。その後、皆さまからのご意見をいただければと思っております。

目次

1. 教育委員会が示す方向性について

2. これまでの取り組みについて

3. 保護者、教職員、児童の意見について

4. 今後の協議事項について

5. 今後のスケジュールについて

今後の清和台地区の方向性について

教育委員会の考え

「川西市立学校のあり方基本方針」に基づき、清和台小学校と清和台南小学校の児童がひとつの学校でともに学ぶ環境をめざす。その運営場所や開始時期に関しては、今後、少子化が見込まれる状況において、清和台地区の子どもたちが将来にわたって質の高い教育を受けられるように、引き続き、保護者や地域の意見を聞きながら進めていく。

具体的な理由

1. 学校教育においては、子どもたちがそこに集う人々を含め、多様な価値観に触れ、互いを認め合い、協力し合う経験を通じて、一人ひとりの資質や能力を伸ばす教育環境をつくることが重要である。このような教育環境を実現するためには、ひとつの学校でともに学ぶ環境が望ましい。
2. 各学年が複数クラスとなり、人間関係の固定化を防ぎ、トラブルが発生した場合でも関係の再構築に繋げることができる。
3. 清和台地区内は、児童が通学可能な距離である。また、必要に応じて通学支援を行うことで、環境の変化により通学の負担が大きくなる児童に対応できる。

今後の清和台地区の方向性について

方向性を決定した理由について

1. 学校教育においては、子どもたちがそこに集う人々を含め、多様な価値観に触れ、互いを認め合い、協力し合う経験を通じて、一人ひとりの資質や能力を伸ばす教育環境をつくることが重要である。このような教育環境を実現するためには、ひとつの学校でともに学ぶ環境が望ましい。

保護者、児童の教育面に関する主な意見

- ①人数が増えることで、できる事も増えるし、いろいろな子と関わり合う事で、人間関係も学べる。
- ②大きい集団の方が周りから刺激を受けて、コミュニケーション能力や意欲、思考力など、さまざまな力が伸びていくと思う。

保護者、児童の教育面に関して懸念する意見

- ③統合によって、今のような温かい雰囲気や、きめ細やかな対応が難しくなると感じる。
- ④規模が小さい分、自分の子どものことを知っている先生が多く、手厚く対応してもらえているように思う。

ひとつの学校になることで関わる人も増え、子どもたちをより多面的に理解できるようになる。また、学校規模は各学年2クラス程度となり、1クラスの人数は大きく変化しない。

今後の清和台地区の方向性について

【参考】今後の児童数推計

清和台小学校

	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
1年	28人	28人	23人	28人	20人	23人
2年	29人	28人	28人	23人	28人	20人
3年	25人	29人	28人	28人	23人	28人
4年	35人	25人	29人	28人	28人	23人
5年	28人	35人	25人	29人	28人	28人
6年	26人	28人	35人	25人	29人	28人
合計	171人	173人	168人	161人	156人	150人

清和台南小学校

	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
1年	34人	28人	15人	27人	37人	15人
2年	30人	34人	28人	15人	27人	37人
3年	25人	30人	34人	28人	15人	27人
4年	30人	25人	30人	34人	28人	15人
5年	26人	30人	25人	30人	34人	28人
6年	39人	26人	30人	25人	30人	34人
合計	184人	173人	162人	159人	171人	156人

※令和7年5月1日の0歳児から5歳児の人数をもとに、転居や他校への進学などを考慮した児童数推計です。

今後の清和台地区の方向性について

方向性を決定した理由について

2. 各学年が複数クラスとなり、人間関係の固定化を防ぎ、トラブルが発生した場合でも関係の再構築に繋げることができる。

保護者、児童の学校規模に対する主な意見

- ①クラス替えができれば、トラブルや万が一いじめが発生した時にも環境を変えることができる。
- ②児童数やクラス数が増えれば、交流が広がり、人間関係の固定化を避けることができる。
- ③クラスに馴染みにくい場合も、たくさん人数がいれば、気の合う友達を見つけることができる。

保護者、児童の複数クラスになることに対して懸念する意見

- ④これまでずっと同じメンバーだから絆が強いと思う。クラス替えて仲の良い友達と離れるのが寂しく、新しいクラスになったときに友達ができるか心配。
- ⑤統合する場合、どんな子が知らないため、仲良くなれるか不安。

→ 事前に交流等を実施することで不安を解消できるようにする。

今後の清和台地区の方向性について

方向性を決定した理由について

3. 清和台地区内は、児童が通学可能な距離である。また、必要に応じて通学支援を行うことで、環境の変化により通学の負担が大きくなる児童に対応できる。

保護者の通学に関して懸念する意見

- ①統合して通学距離が長くなったとき、1年生が登校することができるのか心配。
- ②暑い時期に、30分以上もかけて登下校するのは熱中症なども心配。もし統合するならば、通学の支援は必要だと思う。
- ③大きい道路を横断するのは、安全面で心配。仕事もあり、親が付いていくこともできない。

→ 通学面を心配している保護者が多いため、今後、保護者のニーズを聞きながら、環境の変化により通学の負担が大きくなる児童には、通学支援を実施する。

目次

1. 教育委員会が示す方向性について

2. これまでの取り組みについて

3. 保護者、教職員、児童の意見について

4. 今後の協議事項について

5. 今後のスケジュールについて

これまでの取り組みについて

3月22,23,24日	第1回地域説明会
4月30日	第1回懇話会
5月12,13日	教職員との意見交換会
5月27日	第2回懇話会
6月18日～7月13日	小学校保護者座談会、個別意見交換会、保護者アンケート
7月1,18日	就学前施設保護者との意見交換会
7月23日	第3回懇話会
7月～10月上旬	児童との意見交換会
9月3,5日	未就学児保護者との意見交換会
10月14日	第4回懇話会
11月12日	第5回懇話会
12月13,14日	第2回地域説明会

これまでの取り組みについて

3月22,23,24日	第1回地域説明会
4月30日	第1回懇話会
5月12,13日	教職員との意見交換会
5月27日	第2回懇話会
6月18日～7月13日	小学校保護者座談会、個別意見交換会、保護者アンケート
7月1,18日	就学前施設保護者との意見交換会
7月23日	第3回懇話会
7月～10月上旬	児童との意見交換会
9月3,5日	未就学児保護者との意見交換会
10月14日	第4回懇話会
11月12日	第5回懇話会
12月13,14日	第2回地域説明会

清和台地区学校のあり方を検討する懇話会について

懇話会の協議内容とメンバーについて

懇話会

参加者

各学校運営協議会代表等
《10名程度で構成》

1. 検討事項について、懇話会メンバーと意見交換をする
2. 子どもや保護者、地域の皆さまの声をどのように集めるかなどの意見をもらう

懇話会メンバー 13名

- ・清和台小学校運営協議会委員3名
(保護者1名、地域2名)
- ・清和台南小学校運営協議会委員3名
(保護者2名、地域1名)
- ・清和台中学校運営協議会委員2名
(地域2名)
- ・清和台地区就学前施設2名
(就学前施設1名、保護者1名)
- ・清和台地区学校長3名
(清和台小、清和台南小、清和台中)

清和台地区学校のあり方を検討する懇話会の内容

第1回懇話会 4月30日

- ①地域説明会での意見を報告し、意見交流
- ②保護者や児童対象の意見交換会の実施方法について、意見を伺う

懇話会の意見

- ・興味を持っていない人は、この話が出ていることも知らないため、まずは周知が必要。
- ・多くの保護者の意見を聞くことで、物事を進める手がかりを見つけられると思う。
- ・児童に意見を聞く場合は、理解できるように、内容をしっかり教えた上で意見交換をしてほしい。

第2回懇話会 5月27日

- ①教職員との意見交換会での意見を報告し、意見交流
- ②保護者との意見交換会の具体的な実施方法について情報共有

懇話会の意見

- ・先生が少なく、行事運営で苦勞していると感じる。保護者の立場としても、先生が多い方が良い。
- ・保護者にとって、学校規模は大事な問題であるため、意見交換の際に教育委員会に対して、保護者自身の意見をぜひ伝えてもらいたい。
- ・対面で意見を言うのが難しい人や行けない人のため、QRコードで回答できるアンケートが必要。

清和台地区学校のあり方を検討する懇話会の内容

第3回懇話会 7月23日

保護者との意見交換会やアンケートでの意見を報告し、意見交流

懇話会の意見

- ・統合に前向きな人も多い中、統合の可否についてこれほど時間をかける必要があるのかと感じる。
- ・問題をどう解決するか具体的な話をする方が有意義であり、次の段階に進んだ方が良い。
- ・保護者の懸念事項で最も多い、通学面、安全面の部分をどのようにクリアするのかを知りたい。

第4回懇話会 10月14日

加古川市の義務教育学校を見学し、教育面や統合時に関わった地域の方の意見を聞く。

懇話会と加古川市の地域の方のやりとり

Q:統合を進める上で、一番悩んだところ、苦労したところはどこですか？

A:130年続いてきた学校を閉校することに悩んだものの、未来を重視したいという考えで進めました。

Q:統合に向けて、子どもたちの不安をなくすために、どのように準備を進めてきましたか？

A:該当校同士を休み時間も含めリモートでつないで、お互いが自由に話せる環境を作りました。

目次

1. 教育委員会が示す方向性について

2. これまでの取り組みについて

3. 保護者、教職員、児童の意見について

4. 今後の協議事項について

5. 今後のスケジュールについて

小学校保護者との意見交換会

小学校保護者アンケート・意見交換会 実施内容

保護者アンケート
(実施期間~7月13日)
全児童へプリント配布、
ミマモルメにて周知

清和台小学校

回答数 71 (家庭数140) 回答率 51%

清和台南小学校

回答数 78 (家庭数141) 回答率 55%

個別意見交換会
個人懇談終了後の
保護者へ直接声をかけ、
意見交換

清和台小学校

実施日 7月3日(木)~7月8日(火) 13:30~17:00
意見交換できた人数 118名(家庭数 140) 回答率 84%

清和台南小学校

実施日 6月19日(木)~6月24日(火) 14:00~17:00
意見交換できた人数 127名(家庭数 141) 回答率 90%

小学校保護者との
座談会
各小学校にて
それぞれ1回実施

清和台小学校

実施日 6月18日(水) 9:00~11:00 参加人数 7名

清和台南小学校

実施日 7月10日(木) 10:00~12:00 参加人数 0名

保護者アンケート結果

記述式アンケート項目

- ①1学年1学級(小規模校)のよいところや心配なところについて
- ②清和台地区では、現在、統合もふくめて今後の学校のあり方を検討していますが、あなたの考えやご意見をお聞かせください。

保護者意見の傾向

保護者意見の傾向	清和台小	清和台南小	合計
統合をして学校規模を大きくした方が良いと捉えられる意見	33	52	85
どちらとも言えない意見	26	16	42
統合をせずにこのままが良いと捉えられる意見	12	10	22

※記述式の保護者アンケートを教育委員会事務局が分類した結果です。

保護者アンケートの主な懸念点

- ①統合する場合、通学はどうなるのか
- ②統合する場合、どの学校を使用することになるのか
- ③いつ統合することになるのか
- ④今後のことも考え、小中一貫校も検討したらよいのではないか

アンケートで通学面の懸念を
記載していた保護者
清和台小学校 42名(71名中)
清和台南小学校 33名(78名中)

個別意見交換会結果

清和台小学校

実施日 7月3日(木)~7月8日(火) 13:30~17:00
意見交換できた人数 118名(家庭数140) 回答率84%

清和台南小学校

実施日 6月19日(木)~6月24日(火) 14:00~17:00
意見交換できた人数 127名(家庭数141) 回答率90%

質問内容

清和台地区では、現在、統合もふくめて今後の学校のあり方を検討していますが、あなたの考えやご意見をお聞かせください。

保護者意見の傾向

全体的に、子どもの数が多い方が良く、複数のクラスがある方が望ましいという意見が多く寄せられました。一方で、学校が統合されることで通学距離が遠くなる場合には、通学に関する不安を訴える声や、通学支援を求める意見が多数ありました。

小学校保護者の意見(まとめ)

このままの方が良いという意見

通学距離について

- ①どの学校に統合しても、学校までの距離がとても遠くなる子どもが出てきてしまうため、統合には反対。学校が近い事から今の住居を選んでいる家庭も多い。
- ②この暑い時期に、30分以上もかけて登下校するのは熱中症なども心配。もし統合するならば、通学の支援は必要だと思う。
- ③大きい道路を横断するのは、安全面で心配。仕事もあり、親が付いていくこともできない。

教育面について

- ④統合によって、今のような温かい雰囲気や、きめ細やかな対応が難しくなるのでは、と思う。
- ⑤規模が小さい分、自分の子どものことを知っている先生が多く、手厚く対応してもらえているように思う。

時期や今後の人数について

- ⑥小学校生活が残り1、2年というタイミングでの統合には反対。子どもの環境を変えたくない。
- ⑦もっと人数が減るならば考えても良いと思う。今ぐらいの人数ならばこのままでも良いと思う。

小学校保護者の意見(まとめ)

学校規模が大きい方が良いという意見

教育面について

- ①人数が増えることで、できる事も増えるし、いろいろな子と関わり合う事で、人間関係も学べる。早く統合して、たくさんの人とかかわってほしい。これから先、どんどん人数が多いコミュニティを経験していくので、小学生のうちにたくさんの人に揉まれる経験をして欲しい。
- ②同学年で、多くの子ども達と交流があった方が、社交性や協調性が高まると思う。
- ③統合しても規模が大きくなりすぎることはないため、今の小規模の良さも継続できると思う。クラス内の人数はどの規模でも同じであるため、小規模だから手厚いとは思わない。
- ④行事を見ていると、人数が少なくて寂しいと感じる。

単学級のリスクについて

- ⑤クラス替えがないと、人間関係が固定されてしまう。もめ事があったときに逃げ場がない。
- ⑥男女の数で考えると、同性が同じ学年に数名しかいない状況もあるため、しんどいと感じる。友達同士でもめたときに学校に行き渋った時期もあった。
- ⑦中学1年生になったときに、けやき坂小学校など、大きな規模の学校に圧倒されてしまう。小学校の時に揉まれる経験をしていないため、中学校になったときに心配。

小学校保護者の意見(まとめ)

それ以外の意見

議論の進行速度について

- ①早く方向性を決めて欲しい。早く統合は決めて、統合に向けた具体的な話し合いをして欲しい。
- ②統合するならスピードも大事だと思うが、丁寧な話し合いが必要だと思う。

児童の交流について

- ③統合までの間に2校で交流するなど、お互いを知って前向きになれるようにして欲しい。
- ④清和台小学校・清和台南小学校合同で行事や校外学習をする、お互いの小学校に招待するなどができるのであれば楽しいかなと思った。

統合後の学校について

- ⑤統合するとなると、各学校の教育課程や生活ルールなどが異なるので、どのような体制になるのかが気になる。
- ⑥2校の児童が卒業後に通う予定の清和台中学校に統合できれば、両校にとって良いのではないか。
- ⑦新学校を建設すると話題になれば、子育て世代の流入や空き家の解消にもつながり、清和台のまちの活性化になるのではと期待できる。

未就学児保護者との意見交換会

保護者アンケート・意見交換会 実施内容

就学前施設保護者 意見交換会

清和台地区の各施設に
て、行事の日に実施

めぐみ学園

実施日 7月1日(火) 14:00~15:00 参加者 10名

新清和台こども園

実施日 7月18日(金) 15:00~17:00 参加者 8名

清和台おうち保育園

行事の関係で実施が難しいため、アンケートにて実施 回答者 8名

未就学児保護者 意見交換会

清和台地区に住む
未就学児保護者全員に
手紙を送付

清和台小学校

※校内見学も実施

実施日 9月5日(金) 10:00~11:00 参加者 11名

清和台南小学校

※校内見学も実施

実施日 9月3日(水) 10:00~11:00 参加者 16名

未就学児保護者の意見

未就学児保護者 意見の傾向

全体的に、意見としては、小学校の保護者と共通する部分が多く見られました。統合して人数が増えることは教育面でプラスになる部分が多いので賛成だが、通学面が心配という意見が多数ありました。

- ①少ない人数の中でクラスに馴染めなかったら、6年間そのままかと思うと不安はある。
- ②統合して通学距離が遠くなったとき、1年生が登校することができるのか心配。
- ③学童の待機状況がどうなるのか気になる。統合後も受け入れ可能なキャパシティは確保されるのか、入所基準に変更はあるのか、教室の場所は敷地内になるのかなどについても知りたい。
- ④早く方向性を示してほしい。新しい環境に慣れるには時間がかかると思うので、できれば入学時にはすでに新しい環境が整っているとありがたい。
- ⑤小学校では、たくさんの子どもとともに生活して、いろいろな考え方、ものの見方に触れてほしい。様々な考え方に触れて視野を広げるべき。
- ⑥こども園で仲が良くても、小学校で分かれてしまうことが残念なので、一緒に通えるようになると良い。

教職員との意見交換会

教職員との意見交換会

教職員との
意見交換会
清和台小学校
清和台南小学校
それぞれで実施

清和台小学校

実施日 5月12日(月) 参加者 15名

清和台南小学校

実施日 5月13日(火) 参加者 16名

小規模校の教育について

教育面に関して、教職員からは、小規模校の教育の良い面と難しい面の両方の意見が出ました。

- ①人数が少ないことで、一人ひとりが主役になれる機会が多くなり、同じクラスで過ごす時間が長いため、子ども同士のつながりが深まり、異学年とも交流しやすい。一方で、人間関係が固定化しやすく、クラス間での交流がなく学年全体で高め合う機会が少ない。
- ②子どもたちの人間関係が順調であれば学年運営を行いやすいが、大きなトラブルがあった時に逃げ場がない。

小規模校の業務について

- ①教員が少ないため、少人数で学年業務を分担しなければならず、生活指導などで複数の教員による対応や、体調不良で教員が休んだ際の、代替授業の対応が難しい。また、教員一人あたりの校務分掌が増え、出張も増加するなど、業務負担が大きい。
- ②学年担任が一人であり、担任が考えたことをすぐに実行できるが、一人ですべてを進めるため、見落としや間違いに気付けない不安もあり、責任も重い。

児童との意見交換会

児童との意見交換について

『清和台地区の学校の「これから」を考えよう』学習の流れ

時期 7月～10月上旬

対象 清和台小学校、清和台南小学校 4～6年生

学習の流れ

- ①清和台地区の学校の現状について学ぶ。
- ②他校との交流を通し、学校生活の様子を聞き、様々な規模の学校がある事を学ぶ。

クラスの数が多い学校 …… 東谷小学校、清和台中学校

クラスの数が少ない学校 …… 楊津小学校、大島小学校（猪名川町）

統合した学校 …… 義務教育学校両荘みらい学園（加古川市）

- ③経験や他校との交流で得た知識から、自分の考えをまとめる。
- ④まとめた自分の考えをグループで発表し、交流する。

学習の様子

学習の様子（清和台小）



《清和台小学校ホームページより》

学習の様子

学習の様子（清和台南小）



《清和台南小学校ホームページより》

児童の意見

このままの方が良いという意見

- ①クラス替えで仲の良い友達と離れるのが寂しいし、新しいクラスになったときに友達ができるか心配。
- ②これまでずっと同じメンバーだから絆が強いと思う。
- ③クラスや人数が少ない方が落ち着くからいいなと思った。
- ④人数が多いとうるさくなりそうだし、同じ学年の友達全員の名前も覚えられなくなる。運動場も狭くなるから少ない人数の方が良い。
- ⑤もう少し人数が増えても良いが、今は人数が少なすぎるわけでもないなのでそのままが良い。特に困ったこともない。

学校規模が大きい方が良いという意見

- ①クラス替えをしてみたい。いろいろな人と仲良くなりたいし、新しい出会いを経験することで、中学生や大人になった時に役立つと思う。
- ②クラスの数が多くなればにぎやかになり、新しい友達が増えて楽しそう。遊びも、人数が多くなるとできることが増えそう。
- ③人数が増えれば、同じ趣味を持つ人が増えて友達もできやすいし、相談に乗ってくれる人も増える。
- ④先生の数が増えると、いろいろな先生と話せたり仲良くなれたりして楽しそう。
- ⑤クラスが増えると、運動会のリレーやダンス、音楽会など、行事が盛り上がる。

児童の意見

どちらとも言えない意見

- ①それぞれの学校に良い点や困った点があることがわかった。今は困ったことがないからどちらがよいかわからない。
- ②人数が少なすぎると友達ができないし、多すぎると名前が覚えられないので、少なすぎても多すぎても困る。
- ③人数が多くても少なくても楽しくやっていけそうだから、どちらでも良い。
- ④人数やクラスの数に関係なく、みんなが仲良くできる学校がいい。
- ⑤統合しても楽しそうだけど不安もある。もし統合するなら、どんな子が知らないと不安なので、まず会って一緒に遊ぶなど、交流して仲良くなりたい。

目次

1. 教育委員会が示す方向性について

2. これまでの取り組みについて

3. 保護者、教職員、児童の意見について

4. 今後の協議事項について

5. 今後のスケジュールについて

今後の協議事項について

①教育環境と運営場所について

清和台小学校と清和台南小学校の2校がひとつの学校でともに学ぶ環境として、以下の3パターンの教育環境を中心に検討し、それが実現できる場所を選択していきます。

- A 小学校のみの基本的な教育環境
- B 中学校とのより密接な連携が可能な教育環境
- C 中学校及び特別支援学校との多様な学びが可能な教育環境

今後の協議事項について

②通学支援について

通学環境が変わる児童に対し、スクールバスの運行や公共交通機関の利用補助、通学路の安全対策など、通学支援の方法を検討する。

③まちづくりについて

地域の方と、まちづくりについて新たに協議する場を設け、検討をスタートする。

④新しい学校の運営について

学校名や校歌、通学路や登下校のルール など
保護者や地域との連携の方法 など

⑤新しい学校の教育課程について

学校目標や学校の決まり など
時間割や学校行事 など

目次

1. 教育委員会が示す方向性について

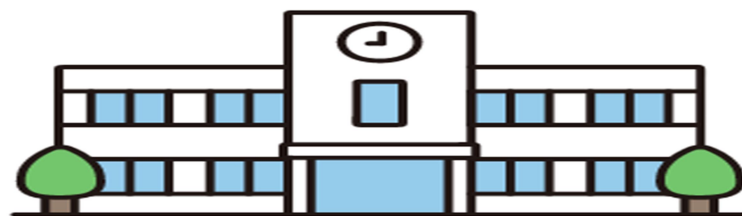
2. これまでの取り組みについて

3. 保護者、教職員、児童の意見について

4. 今後の協議事項について

5. 今後のスケジュールについて

今後の進め方について



教育の視点

教育委員会

懇話会

意見収集

地域説明会

当事者である保護者や児童を中心に、教育の視点で、意見収集を実施してきた。今後も、教育委員会が3つの教育環境の案を中心にして意見収集を実施していく。

まちづくりの視点

市長部局

2校をひとつの学校にする場合、活用できる土地の検討を行うため、市長部局が地域の方々と、意見交換を実施していく。

今後のスケジュール(イメージ図)

令和8(2026)年～

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
懇話会	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回				
意見収集	保護者・子ども 対象 意見交換会								
説明会							第3回		

※日程は目安です。

教育環境と運営場所、開始時期、通学支援などの協議事項について、教育委員会の案を提示します。



本日はありがとうございました！



- ① お忘れ物がないよう、今一度ご確認をお願いします。
- ② 本日の説明会資料を含め、これまでの検討資料等を、川西市の以下のホームページに掲載しています。

今後の検討資料も引き続き掲載していきます。

「[トップページ](#) > [暮らし・手続き](#) > [教育・学校](#) > [小学校・中学校](#) > [【令和6年度～】清和台地区での学校規模の検討について](#)」



- ③ なお、「川西市立学校のあり方基本方針」に関する資料は川西市の以下のホームページに掲載しております。

「[トップページ](#) > [市政情報](#) > [情報公開・個人情報保護・統計・監査](#) > [審議会（会議公開制度）](#) > [対象審議会一覧](#) > [川西市立学校のあり方審議会](#)」

